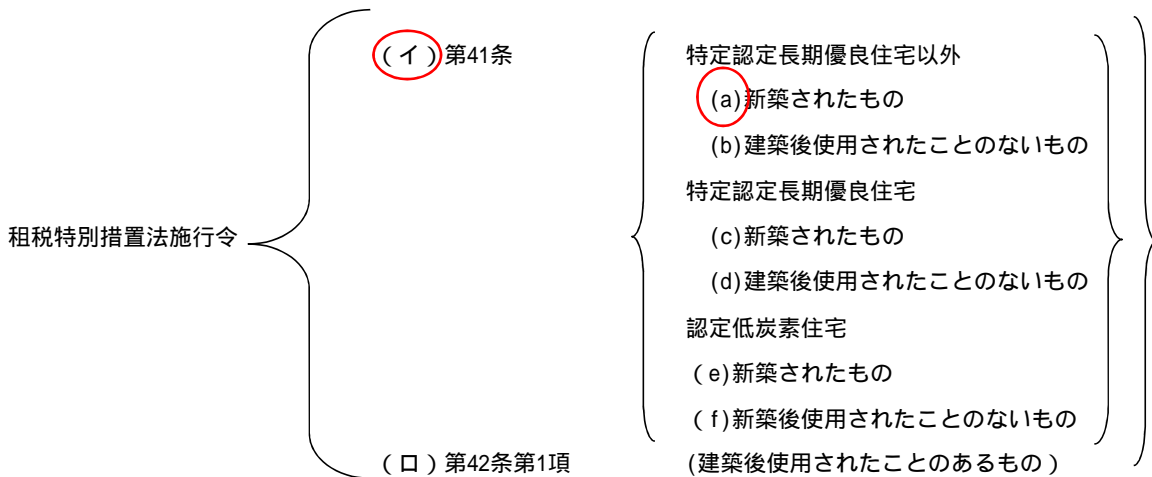


1 新築された住宅の記入方法

住宅用家屋証明申請書



の規定に基づき、下記の家屋がこの規定に該当するものである旨の証明を申請します。

申請日を記入してください。

年 月 日

恵那市長 小坂 喬峰 様

|     |    |   |   |
|-----|----|---|---|
| 申請者 | 住所 | 申請者の住所、氏名の記入及び押印してください。<br>共有の場合は持分も記入してください。<br>代理人申請の場合は押印の必要ありません。 | 印 |
| 代理人 | 住所 | 代理人の住所、氏名の記入及び押印してください。   | 印 |

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 所在地                   | 登記の「所在」を記入してください。   |
| 建築年月日                 | 登記の「新築日」を記入してください。  |
| 取得年月日                 | 記入は不要です。 年 月 日  |
| 取得の原因<br>(移転登記の場合に記入) | 記入は不要です。 (1)売買 (2)競落  |
| 申請者の居住                | (1)入居済 (2)入居予定<br>申請日現在で該当するものに を記入してください。                  |
| 床面積                   | 1階 m <sup>2</sup> 1階以外 m <sup>2</sup><br>登記の「床面積」を記入してください。 |
| 構造                    | 記入は不要です。 造  |
| 区分建物の耐火性能             | (1)耐火または準耐火 (2)低層集合住宅<br>区分建物(マンション等)の場合はどちらかに を記入してください。   |

< 記入上の注意 >

- { }の中は、(イ)又は(ロ)のうち該当するものを 印で囲み、(イ)を 印で囲んだ場合は、さらに(a)から(f)のうち該当するものを 印で囲むこと。
- 「建築年月日」の欄は、(b)、(d)又は(f)を 印で囲んだ場合は記載しないこと。
- 「取得年月日」の欄は、所有権移転の日を記載すること。なお、(a)、(c)又は(e)を 印で囲んだ場合は記載しないこと。
- 「取得の原因」の欄は、上記(イ)(b)、(d)若しくは(f)又は(ロ)を 印で囲んだ場合に限り、(1)又は(2)のうち該当するものを 印で囲むこと。
- 「申請者の居住」の欄は、(1)又は(2)のうち該当するものを 印で囲むこと。
- 「構造」の欄は、建築後20年超25年以内に取得された家屋について証明を申請する場合に記載し、当該家屋の登記記録に記載された構造を記載すること。
- 「区分建物の耐火性能」の欄は、区分建物について証明を申請する場合に、(1)又は(2)のうち該当するものを 印で囲むこと。なお、建築後使用されたことのある区分建物の場合、当該家屋の登記記録に記載された構造が、石造、れんが造り、コンクリートブロック造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造であるときは(1)を 印で囲むこと。